

インターバンクの声（2017年1月19日）

112 円を割り込むと厄介な展開になると考えられていたドル円だが、米大統領就任式前のさらなるドル売りはどうか回避されそう。前日、トランプ次期米大統領がウォールストリート・ジャーナル紙とのインタビューでドル高をけん制する発言をしていたことが伝わり、ドルが全面安となり始め、115 円台から昨日の 112 円台までドル売り・円買いが進んだ。

昨日のアジア時間は、仲値が公示される頃まではドルの上値が重かったが、米長期金利が僅かながら上昇に転じ、値頃感からドル買いに動き出した勇氣ある投資家も出始め 113 円台に戻した。

しかし、さすがにロンドン市場からニューヨーク市場にかけては 113 円台でドルを買い続けるような動きは鈍り、その後のイエレン米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長の講演内容を待つことになった。

毎度慎重な言い回しをすることが多いイエレン議長とあって、市場も取り敢えず内容を確認するだけだと考えていたが、やや意表を突くように段階的な利上げを明確に示したことで、ドル円も 114 円台中盤まで一気に押し上げられた。このまま明日になれば、以前から予想の多かった 114～115 円で米大統領就任式を迎えることになりそう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。